

4. 履修の規程、カリキュラム構成

4-1 こども心理学部こども心理学科

4-1-1 履修の規程

<必修・選択科目>

必修科目	卒業するために修得が必須となる科目。
選択科目	所定の領域の中から選択して履修する科目。卒業要件の124単位には含まれるが、必修ではない。
自由科目	自由に選択して履修する科目。卒業要件の124単位に含まれるが、必修ではない。

<履修の規程>

こども心理学部こども心理学科の正科生（1年次入学・3年次編入学）の卒業要件単位数は、124単位以上とする。（3年次編入学は包括認定単位数を含める。）

●一般教育科目（1年次入学のみ該当）

一般教育科目	教養科目群	人文	[国語表現] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。
		自然科学	4単位以上を選択必修とする。
		社会	4単位以上を選択必修とする。
	スポーツ科目群	2単位以上を選択必修とする。	
	情報処理科目群	[情報科学概論][情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）] を必修とする。	
	外国語科目群	[英語Ⅰ][英語コミュニケーションⅠ][リスニング] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。	
	合計	一般教育科目から上記を含む合計32単位以上の修得を卒業要件単位数とする。	

●専門教育科目

科目	所属	3年次編入学		
		1年次入学	認定心理士・生涯学習コース	幼稚園教諭一種免許コース 小学校教諭一種免許コース
専門教育科目	基礎科目	6科目12単位全てを必修とする。		
	基幹科目	[教育心理学][カウンセリング論] を必修とし、残りの科目から8単位以上を選択必修とする。	12単位全てを必修とする。	
	展開科目	合計48単位以上を選択必修とする。	認定単位を含め、62単位以上を選択必修とする。	認定単位を含め、68単位以上を選択必修とする。
	自由選択科目	20単位	6単位	—
	合計	専門教育科目から合計92単位以上（3年次編入学は包括認定単位数を含む）の修得を卒業要件単位数とする。		

4-1-2 科目履修のための前提条件について

一部科目は、以下の通り履修にあたり前提条件が設定されています。

■一般教育科目

科目区分	科目名	前提条件
情報処理科目群	情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）	前学期までに【情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）】の単位を修得していること

■専門教育科目

科目区分	科目名	前提条件
基幹科目	心理・教育アセスメントⅠ	前学期までに【心理学概論（こころの形成）】【心理学概論（こころの理解）】【心理学研究法Ⅰ】【心理統計法Ⅰ】の単位を修得していること
展開科目（心理）	発達生理心理学Ⅱ	前学期までに【発達生理心理学Ⅰ】の単位を修得していること
	心理療法上級	前学期までに【心理療法基礎】の単位を修得していること
	心理統計法Ⅱ	前学期までに【心理統計法Ⅰ】の単位を修得していること
	心理学基礎実験	前学期までに【情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）】※【心理学概論（こころの形成）】【心理学概論（こころの理解）】【心理学研究法Ⅰ】【心理統計法Ⅰ】の単位を修得していること ※【情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）】は正科生1年次入学の学生のみ適用
	心理・教育アセスメントⅡ	前学期までに【心理・教育アセスメントⅠ】の単位を修得していること
心理学研究法Ⅱ	前学期までに【心理学研究法Ⅰ】の単位を修得していること	
展開科目（教育）	教職実践演習（幼・小）	【教育実習】を終了していること。 ただし、取得を目指す同校種の実務経験があり、教育職員免許法施行規則第六条備考九を使用して教育実習を行わない場合には、本学が定める期日までに通信教育部へ連絡のうえ手続きをすること。
	教育実習Ⅰ（幼） 教育実習Ⅱ（幼）	①【教育実習指導（事前・事後）】の事前指導に関する部分を受講していること ②教育実習要件科目※の単位を修得していること ※「カリキュラム構成」(P.75～83)参照
	教育実習Ⅰ（小） 教育実習Ⅱ（小）	①【教育実習指導（事前・事後）】の事前指導に関する部分を受講していること ②教育実習要件科目※の単位を修得していること ※「カリキュラム構成」(P.75～83)参照
卒業研究科目	卒業研究・卒業論文	【こども心理学演習】※の単位を修得していること ※「単位修得に関する事項」(P.62～64)参照

4-1-3 進級要件

●正科生（1年次入学）

正科生（1年次入学）は以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

<進級要件単位>

科目区分	3年次への進級要件		4年次への進級要件	
	一般教育科目	必修科目	6単位以上	必修科目
	小計	22単位以上	小計	28単位以上
専門教育科目	必修科目	12単位以上	必修科目	16単位以上
	小計	38単位以上	小計	64単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

●正科生（3年次編入学）

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、履修条件のある科目に注意して計画的に履修し、卒業要件を満たしてください。

4-1-4 卒業要件

正科生（1年次入学・3年次編入学）は以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

●正科生（1年次入学）

<卒業要件単位>

科目区分	卒業要件単位				備考		
	必修	選択必修	自由選択	小計			
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング単位（対面授業・メディア授業・ライブ授業）、テキストスクーリング科目（単位数の半分）で満たさなければならない。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群	0	2				
	情報処理科目群	4	0				
外国語科目群	6	2					
専門教育科目	基礎科目	12	0	20	92単位以上		
	基幹科目	4	8				
	展開科目	0	48				
	卒業研究科目	0	0				
合計	28単位	70単位	26単位	124単位			

●正科生（3年次編入学）

<卒業要件単位>

◆認定心理士・生涯学習コース

科目区分	卒業要件単位			備考
	必修	選択必修	小計	
一般教育科目（認定単位）	(32)		32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング単位（対面授業・メディア授業・ライブ授業）、テキストスクーリング科目（単位数の半分）で満たさなければならない。
基礎科目	12	0	12	
基幹科目	4	8	12	
展開科目 (認定単位)	0	34	62	
合計	-		124単位	

※基幹科目もしくは展開科目の中からそれぞれに必要な単位数に加え、余剰分6単位以上がさらに必要となる。

◆幼稚園教諭一種免許コース・小学校教諭一種免許コース

科目区分	卒業要件単位			備考	
	必修	選択必修	小計		
一般教育科目	日本国憲法	2	0	32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング単位（対面授業・メディア授業・ライブ授業）、テキストスクーリング科目（単位数の半分）で満たさなければならない。
	体育実技A	左記の科目のうち 2単位以上 選択必修			
	体育実技B				
	レクリエーション論				
	健康科学論				
	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	2	0		
	英語Ⅰ	2	0		
(認定単位)	(24)				
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	92単位以上
	基幹科目	8	0	12	
	(認定単位)	(4)			
	展開科目	0	44	68	
(認定単位)	(24)				
合計	-		124単位		

*通学課程で修得した単位は30単位を上限としてスクーリング科目による単位として認定されるが、通信課程で修得した単位は入学資格を証明する書類により授業形態を確認し、個別に認定する。

●カリキュラム構成の見方 (P.75～)

＜授業方法＞欄

T：テキスト科目

S：スクーリング科目（対面授業）

M：スクーリング科目（メディア授業）

L：スクーリング科目（ライブ授業）

TS：テキストスクーリング科目

＜開講ターム＞欄【テキスト科目のみ】

奇：奇数ターム開講

偶：偶数ターム開講

＜授業形態＞欄

講：講義

演：演習

実：実技or実験or実習

＜各要件＞欄

卒業要件：卒業するために必要な科目・単位

実習要件：教育実習実施前学期までに必要な科目

資格・教員免許要件：認定心理士や教員免許等を取得するために必要な科目

＜資格・免許要件＞欄

○：本学において、資格・免許を取得するために必須としている科目

△：選択必修科目

（）：認定心理士資格要件上、副次主題のため、修得した単位数の1/2換算を表す

《注意事項》

※所属学部・コースに開講する科目のみ、履修することができます。

※各科目の担当教員や、スクーリング科目の授業形態（対面授業・メディア授業・ライブ授業）は、シラバスや年度始めに提示する開講予定表を参照してください。

※講義概要の変更等により、今後授業形態が変更となる場合があります。

4-1-5 カリキュラム構成

こども心理学部こども心理学科

●正科生（1年次入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	幼免一種 実習要件	小免一種 免許要件	社会福祉主事 免許要件	卒業要件単位数				備考
										必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	人文	哲学	1 2 3 4	T	奇	講						2	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 教員免許状取得希望者は、体育実技A又は体育実技Bいずれかの単位を修得すること。 履修条件有 (P.71)	
		宗教学	1 2 3 4	T	奇	講						2		
		歴史学	1 2 3 4	T	偶	講						2		
		文学	1 2 3 4	T	偶	講						2		
		国語表現	1 2 3 4	S		講					2			
	自然科学	数学	1 2 3 4	T	偶	講						2		
		天文学	1 2 3 4	T	奇	講						2		
		生命科学	1 2 3 4	T	偶	講						2		
		脳科学	1 2 3 4	M		講						2		
		環境科学	1 2 3 4	T	偶	講						2		
	社会	社会学	1 2 3 4	T	偶	講					△	2		
		政治学	1 2 3 4	L		講						2		
		経済学	1 2 3 4	T	偶	講					△	2		
		法律学	1 2 3 4	T	奇	講					△	2		
		日本国憲法	1 2 3 4	T	奇	講		○	○			2		
	スポーツ科目群	体育実技A	1 2 3 4	S		実		△	△			1		
体育実技B		2 3 4	S		実		△	△			1			
レクリエーション論		1 2 3 4	S		講		△	△			2			
健康科学論		2 3 4	T	奇	講		△	△			2			
情報処理科目群	情報科学概論	1 2 3 4	T	偶	講						2			
	情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)	1 2 3 4	M		演		○	○			2			
	情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)	2 3 4	S		演						2			
外国語科目群	英語Ⅰ	1 2 3 4	T	奇	講		△	△			2			
	英語Ⅱ	2 3 4	T	奇	講		△	△			2			
	英語コミュニケーションⅠ	1 2 3 4	S		演		△	△			2			
	英語コミュニケーションⅡ	2 3 4	S		演		△	△			2			
	リスニング	1 2 3 4	L		演		△	△			2			
中国語	2 3 4	S		演						2				

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	卒業要件単位数				備考
							幼免一種 実習要件	小免一種 実習要件	社会福祉主事	合計	
専門教育科目	基礎科目	子ども学	1 2 3 4	T	奇講					2	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 専門教育科目から92単位以上
		心理学概論(こころの形成)	1 2 3 4	T	偶講	○	△	△	2		
		心理学概論(こころの理解)	1 2 3 4	T	奇講	○	△	△	2		
		乳幼児心理学	1 2 3 4	T	偶講	○	○	△	2		
		子ども臨床心理学	1 2 3 4	T	奇講	○	△	△	2		
		子どもの心理学(総論)	1 2 3 4	T	偶講	(○)	△	△	2		
	基幹科目	教育心理学	1 2 3 4	T	奇講	○	○	○	○	2	
		青年心理学	2 3 4	T	偶講	△				2	
		パーソナリティ心理学	2 3 4	T	偶講	△				2	
		カウンセリング論	2 3 4	T	奇講	○				2	
		発達心理学	2 3 4	T	奇講	△	○	△		2	
		心理学研究法Ⅰ	1 2 3 4	M	講	○				2	
		心理統計法Ⅰ	1 2 3 4	M	演	○				2	
		心理・教育アセスメントⅠ	2 3 4	S	実	○				2	
教育学概論	1 2 3 4	T	偶講		○	○	○	○	△	2	

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	卒業要件単位数				備考	
							幼免一種 実習要件	小免一種 実習要件	社会福祉主事	合計		
専門教育科目	展開科目(心理)	認知心理学	2 3 4	T	奇講	△					2	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 専門教育科目から48単位以上
		感情心理学	2 3 4	T	奇講	△					2	
		発達生理心理学Ⅰ	2 3 4	T	偶講	△					2	
		発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	偶講	△					2	
		比較行動学	3 4	T	偶講	△					2	
		精神保健学	2 3 4	T	偶講	(△)				△	2	
		発達の課題と障害	3 4	T	偶講	△					2	
		発達障害学	1 2 3 4	T	偶講	△					2	
		心身医学	3 4	T	偶講	(△)					2	
		心理療法基礎	2 3 4	S	演	△					2	
		心理療法上級	3 4	S	演	△					2	
		家族の心理学	1 2 3 4	T	偶講	△					2	
		親子関係の心理学	3 4	T	偶講	(△)					2	
		言語心理学	3 4	T	奇講	△					2	
		集団の心理学	2 3 4	T	奇講	△					2	
		学校教育カンファレンス	3 4	S	演	(△)					2	
	子育てカンファレンス	3 4	S	演	(△)					2		
	子どもマーケット調査論	2 3 4	T	偶講						2		
	子ども文化	2 3 4	S	講						2		
	対人コミュニケーション論	2 3 4	T	奇講	△					2		
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S	演	△					2		
	少年非行の心理学	1 2 3 4	T	奇講	△					2		
	犯罪の心理学	3 4	T	奇講	△					2		
	心理統計法Ⅱ	2 3 4	S	演	△					2		
	心理学基礎実験	2 3 4	S	実	○					2		
	心理・教育アセスメントⅡ	3 4	S	演	(△)					2		
	社会的認知	2 3 4	M	講	△					2		
	文化心理学	2 3 4	T	奇講	△					2		
	心理学研究法Ⅱ	2 3 4	S	演	△					2		
	産業カウンセリング	3 4	M	講	△					2		
	ストレスマネジメント論	2 3 4	T	奇講	△					2		

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	幼免一種 実習要件	小免一種 実習要件	社会福祉主事	卒業要件単位数			備考
										必修	選択	合計	
専門教育科目	国語	234	T	偶	講							2	
	社会	234	T	奇	講							2	
	算数	234	T	偶	講							2	
	理科	234	T	奇	講							2	
	生活	234	T	偶	講							2	
	子ども美術	234	T	奇	講							2	
	家庭	234	T	奇	講							2	
	子ども体育	234	T	偶	講							2	
	子ども音楽	234	T	奇	講							2	
	初等英語	234	T	偶	講							2	
	音楽実技 I A	1234	S			実						1	
	音楽実技 I B	1234	S			実						1	
	初等国語科教育法	234	T	偶	講					○		2	
	初等社会科教育法	234	T	奇	講					○		2	
	初等算数科教育法	234	T	偶	講					○		2	
	初等理科教育法	234	T	奇	講					○		2	
	初等生活科教育法	234	T	偶	講					○		2	
	初等音楽科教育法	234	T	奇	講					○		2	
	初等図画工作科教育法	234	T	奇	講					○		2	
	初等家庭科教育法	234	T	奇	講					○		2	
	初等体育科教育法	234	T	奇	講					○		2	
	初等英語教育法	234	T	偶	講					○		2	
	教職論	234	T	偶	講		○	○	○			2	
	比較教育制度論	234	T	偶	講			○	○			2	
	学校安全	234	T	奇	講			○	○			2	
	特別支援教育	234	T	偶	講			○	○			2	
	子ども教育課程論	234	T	偶	講		○	○	○			2	
	道德教育	234	T	偶	講			△	○	○		2	
	総合的な学習の指導法	234	T	偶	講				○			2	
	生徒・進路指導	234	T	奇	講				○	○		2	
教育相談	234	T	偶	講				○			2		

※テキスト科目 (T) 又はテキストスクーリング科目 (TS) のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
専門教育科目から92単位以上
展開科目から48単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	幼免一種 実習要件	小免一種 実習要件	社会福祉主事	卒業要件単位数			備考
										必修	選択	合計	
専門教育科目	健康	234	T	奇	講							2	
	人間関係	234	T	偶	講							2	
	環境	234	T	偶	講							2	
	言葉	234	T	奇	講							2	
	表現	234	T	偶	講							2	
	保育内容総論(保育指導法)	234	T	奇	講							2	
	健康指導法	234	TS			演						2	
	人間関係指導法	234	TS			演						2	
	環境指導法	234	TS			演						2	
	言葉指導法	234	TS			演						2	
	造形表現指導法	234	TS			演						2	
	音楽表現指導法	234	TS			演						2	
	幼児理解と保育相談	234	T	偶	講							2	
	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	234	T	偶	講		○		○			2	
	特別活動	234	T	偶	講				○			2	
	子ども家庭福祉	234	T	奇	講			△	△	△		2	
	社会福祉	34	T	奇	講					△		2	
	国際社会の福祉	4	L		講							2	
	多文化共生社会論	1234	T	奇	講							2	
	教職実践演習(幼・小)	4	S		演			○		○		2	履修条件有 (P.71)
	教育実習指導(事前・事後)(幼)	4	S		実		事前のみ	○				1	3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位付与
	教育実習 I (幼)	4	S		実			○				2	履修条件有 (P.71)
	教育実習 II (幼)	4	S		実			○				2	履修条件有 (P.71)
	教育実習指導(事前・事後)(小)	4	S		実				事前のみ	○		1	3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位付与
	教育実習 I (小)	4	S		実					○		2	履修条件有 (P.71)
	教育実習 II (小)	4	S		実					○		2	履修条件有 (P.71)
	介護等体験	34			実					○			
	こども心理学演習	34	T/S		演		△					2	
	卒業研究・卒業論文	4	T/S		演		△					4	履修条件有 (P.71)

※メディア授業 (M)、ライブ授業 (L) の科目は、スクーリング単位として換算できます。
※テキストスクーリング (TS) 科目は、1 単位をスクーリング単位として換算できます。

こども心理学部こども心理学科

●正科生（3年次編入学 認定心理士・生涯学習コース）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	卒業要件単位数			備考
								必修	選択	小計	
一般教育科目	認定単位							32		32	
基礎科目	子ども学	3 4	T	奇	講			2		12単位	
	心理学概論（こころの理解）	3 4	T	奇	講	○		2			
	心理学概論（こころの形成）	3 4	T	偶	講	○		2			
	乳幼児心理学	3 4	T	偶	講	○		2			
	子ども臨床心理学	3 4	T	奇	講	○		2			
	子どもの心理学（総論）	3 4	T	偶	講	○		2			
	教育心理学	3 4	T	奇	講	○		2			
基幹科目	青年心理学	3 4	T	偶	講	△		2		12単位以上	
	パーソナリティ心理学	3 4	T	偶	講	△		2			
	カウンセリング論	3 4	T	奇	講	○		2			
	発達心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	教育学概論	3 4	T	偶	講		△	2			
	心理学研究法Ⅰ	3 4	M		講	○		2			
	心理統計法Ⅰ	3 4	M		演	○		2			
	心理・教育アセスメントⅠ	3 4	S		実	○		2			
	心理統計法Ⅱ	3 4	S		演	○		2			
	心理学基礎実験	3 4	S		実	○		2			
専門教育科目	認知心理学	3 4	T	奇	講	△		2		62単位以上	
	感情心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	言語心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	親子関係の心理学	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達の課題と障害	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達生理心理学Ⅰ	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	偶	講	△		2			
	比較行動学	3 4	T	偶	講	△		2			
	心理療法基礎	3 4	S		演	△		2			
	心理療法上級	3 4	S		演	△		2			
	精神保健学	3 4	T	偶	講	△	△	2			
	発達障害学	3 4	T	偶	講	△		2			
	心身医学	3 4	T	偶	講	△		2			
	少年非行の心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	犯罪の心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	学校教育カンファレンス	3 4	S		演	△		2			
	子育てカンファレンス	3 4	S		演	△		2			
	集団の心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	対人コミュニケーション論	3 4	T	奇	講	△		2			
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S		演	△		2			
	家族の心理学	3 4	T	偶	講	△		2			
	子どもマーケット調査論	3 4	T	偶	講			2			
	子ども文化	3 4	S		講			2			
	心理・教育アセスメントⅡ	3 4	S		演	△		2			
	社会的認知	3 4	M		講	△		2			
	文化心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	心理学研究法Ⅱ	3 4	S		演	△		2			
	ストレスマネジメント論	3 4	T	奇	講	△		2			
	産業カウンセリング	3 4	M		講	△		2			
	子ども家庭福祉	3 4	T	奇	講		△	2			
	社会福祉	3 4	T	奇	講		△	2			
	国際社会の福祉	4	L		講			2			
多文化共生社会論	3 4	T	奇	講			2				
認定単位							28				

(注) 基礎科目・基幹科目・展開科目それぞれの最低必要単位数の合計ではありません。
 ※メディア授業 (M)、ライブ授業 (L) の科目は、スクーリング単位として換算できます。
 参照：認定心理士資格 [(公社) 日本心理学会認定資格] に係る科目読替表 (P.96)

こども心理学部こども心理学科

●正科生（3年次編入学 幼稚園教諭一種免許コース）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	幼免一種 実習要件	社会福祉主事	卒業要件単位数			備考
								必修	選択	小計	
一般教育科目	認定単位							24		24	
基礎科目	子ども学	3 4	T	奇	講			2		32単位以上	教員免許取得希望者は、体育実技 A 又は体育実技 B いずれかの単位を修得すること。
	心理学概論（こころの理解）	3 4	T	奇	講	△		2			
	心理学概論（こころの形成）	3 4	T	偶	講	△		2			
	乳幼児心理学	3 4	T	偶	講	○		2			
	子ども臨床心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	子どもの心理学（総論）	3 4	T	偶	講	△		2			
	教育心理学	3 4	T	奇	講	○		2			
基幹科目	青年心理学	3 4	T	偶	講	△		2		12単位	
	パーソナリティ心理学	3 4	T	偶	講	○		2			
	カウンセリング論	3 4	T	奇	講	○		2			
	発達心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	教育学概論	3 4	T	偶	講	○	○	△	2		
	心理学研究法Ⅰ	3 4	M		講	○		2			
	心理統計法Ⅰ	3 4	M		演	○		2			
	心理・教育アセスメントⅠ	3 4	S		実	○		2			
	心理統計法Ⅱ	3 4	S		演	○		2			
	心理学基礎実験	3 4	S		実	○		2			
専門教育科目	認知心理学	3 4	T	奇	講	△		2		68単位以上	実習前に履修しておくことが望ましい。
	感情心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	言語心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	親子関係の心理学	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達の課題と障害	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達生理心理学Ⅰ	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	偶	講	△		2			
	比較行動学	3 4	T	偶	講	△		2			
	心理療法基礎	3 4	S		演	△		2			
	心理療法上級	3 4	S		演	△		2			
	精神保健学	3 4	T	偶	講	△		2			
	発達障害学	3 4	T	偶	講	△		2			
	心身医学	3 4	T	偶	講	△		2			
	少年非行の心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	犯罪の心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	学校教育カンファレンス	3 4	S		演	△		2			
	子育てカンファレンス	3 4	S		演	△		2			
	集団の心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	対人コミュニケーション論	3 4	T	奇	講	△		2			
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S		演	△		2			
	家族の心理学	3 4	T	偶	講	△		2			
	子どもマーケット調査論	3 4	T	偶	講			2			
	子ども文化	3 4	S		講			2			
	心理・教育アセスメントⅡ	3 4	S		演	△		2			
	社会的認知	3 4	M		講	△		2			
	文化心理学	3 4	T	奇	講	△		2			
	心理学研究法Ⅱ	3 4	S		演	△		2			
	ストレスマネジメント論	3 4	T	奇	講	△		2			
	産業カウンセリング	3 4	M		講	△		2			
	子ども家庭福祉	3 4	T	奇	講		△	2			
	社会福祉	3 4	T	奇	講		△	2			
	国際社会の福祉	4	L		講			2			
多文化共生社会論	3 4	T	奇	講			2				
認定単位							24				

※メディア授業 (M) の科目は、スクーリング単位として換算できます。
 ※テキストスクーリング (TS) 科目は、1 単位をスクーリング単位として換算できます。
 参照：幼稚園教諭一種免許課程に係る科目読替表 (P.98-99)

こども心理学部こども心理学科

●正科生（3年次編入学 小学校教諭一種免許コース）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講チーム	授業形態	小免一種 実習要件	小免一種 免許要件	社会福祉 主事	卒業要件単位数		備考
									必修	選択	
一般教育科目	日本国憲法	3 4	T	奇	講	○			2		教員免許状取得希望者は、体育実技 A 又は体育実技 B いずれかの単位を修得すること。
	体育実技 A	3 4	S		実	△			1		
	体育実技 B	3 4	S		実	△			1		
	レクリエーション論	3 4	S		講	△			2		
	健康科学論	3 4	T	奇	講	△			2		
	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	3 4	M		演	○			2		
	英語 I	3 4	T	奇	講	○			2		
認定単位									24		
基礎科目	子ども学	3 4	T	奇	講				2		12 単位
	心理学概論(こころの理解)	3 4	T	奇	講	△			2		
	心理学概論(こころの形成)	3 4	T	偶	講	△			2		
	乳幼児心理学	3 4	T	偶	講	△			2		
	子ども臨床心理学	3 4	T	奇	講	△			2		
	子どもの心理学(総論)	3 4	T	偶	講	△			2		
	教育学概論	3 4	T	偶	講	○	○	△	2		
基幹科目	教育心理学	3 4	T	奇	講	○			2		12 単位
	発達心理学	3 4	T	奇	講	△			2		
	カウンセリング論	3 4	T	奇	講				2		
	認定単位									4	
専門教育科目	国語	3 4	T	偶	講				2		一般教育科目と専門教育科目から合計 124 単位以上 専門教育科目から合計 92 単位以上 68 単位以上
	社会	3 4	T	奇	講				2		
	算数	3 4	T	偶	講				2		
	理科	3 4	T	奇	講				2		
	生活	3 4	T	偶	講				2		
	子ども美術	3 4	T	奇	講				2		
	家庭	3 4	T	奇	講				2		
	子ども体育	3 4	T	偶	講				2		
	子ども音楽	3 4	T	奇	講				2		
	初等英語	3 4	T	偶	講				2		
	音楽実技 I A	3 4	S		実				1		
	音楽実技 I B	3 4	S		実				1		
	初等国語科教育法	3 4	T	偶	講	○			2		
	初等社会科教育法	3 4	T	奇	講	○			2		
	初等算数科教育法	3 4	T	偶	講	○			2		
	初等理科教育法	3 4	T	奇	講	○			2		
	初等生活科教育法	3 4	T	偶	講	○			2		
	初等音楽科教育法	3 4	T	奇	講	○			2		
	初等図画工作科教育法	3 4	T	奇	講	○			2		
	初等家庭科教育法	3 4	T	奇	講	○			2		
	初等体育科教育法	3 4	T	奇	講	○			2		
	初等英語教育法	3 4	T	偶	講	○			2		
	教職論	3 4	T	偶	講	○			2		
	比較教育制度論	3 4	T	偶	講	○			2		
	学校安全	3 4	T	奇	講	○			2		
	特別支援教育	3 4	T	偶	講	○			2		
	子ども教育課程論	3 4	T	偶	講	○			2		
道徳教育	3 4	T	偶	講	○	○		2			

※テキスト科目 (T) 又はテキストスクーリング科目 (TS) のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の 4 科目 8 単位以上は、TS 科目で単位修得するよう努めること。

<次ページへ続く>

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講チーム	授業形態	小免一種 実習要件	小免一種 免許要件	社会福祉 主事	卒業要件単位数		備考	
									必修	選択		
専門教育科目	総合的な学習の指導法	3 4	T	偶	講	○			2		一般教育科目と専門教育科目から合計 124 単位以上 専門教育科目から合計 92 単位以上 68 単位以上	
	特別活動	3 4	T	偶	講	○			2			
	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	3 4	T	偶	講	○			2			
	生徒・進路指導	3 4	T	奇	講	○	○		2			
	教育相談	3 4	T	偶	講	○			2			
	教育実習指導(事前・事後)(小)	4	S		実	○			1			
	教育実習 I (小)	4	S		実	○			2			
	教育実習 II (小)	4	S		実	○			2			
	教職実践演習(幼・小)	4	S		演	○			2			
	子ども家庭福祉	3 4	T	奇	講	△	△		2			
	社会福祉	3 4	T	奇	講		△		2			
	多文化共生社会論	3 4	T	奇	講				2			
	介護等体験	3 4			実	○						
	心身医学	3 4	T	偶	講				2			
	精神保健学	3 4	T	偶	講			△	2			
	認定単位									24		

※メディア授業 (M) の科目は、スクーリング単位として換算できます。
 ※テキストスクーリング (TS) 科目は、1 単位をスクーリング単位として換算できます。
 参照：小学校教諭一種免許課程に係る科目読替表 (P.100-101)

4-2 モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科

4-2-1 履修の規程

<必修・選択科目>

必修科目	…………	卒業するために修得が必須となる科目。
選択科目	…………	所定の領域の中から選択して履修する科目。卒業要件の124単位には含まれるが、必修ではない。
自由科目	…………	自由に選択して履修する科目。卒業要件の124単位に含まれるが、必修ではない。

<履修の規程>

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科の正科生（1年次入学・3年次編入学）の卒業要件単位数は、124単位以上とする。（3年次編入学は包括認定単位数を含める。）

●一般教育科目（1年次入学のみ該当）

一般教育科目	教養科目群	人文	[国語表現] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。
		自然科学	4単位以上を選択必修とする。
		社会	4単位以上を選択必修とする。
	スポーツ科目群	2単位以上を選択必修とする。	
	情報処理科目群	[情報科学概論][情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）] を必修とする。	
	外国語科目群	[英語Ⅰ][英語コミュニケーションⅠ][リスニング] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。	
	合計	一般教育科目から上記を含む合計32単位以上の修得を卒業要件単位数とする。	

●専門教育科目

科目	所属	1年次入学	3年次編入学
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	[心理学概論][心理学研究法][心理学統計法][モチベーション論Ⅰ][モチベーション論Ⅱ] を必修とし、残りの科目から4単位以上を選択必修とする。	
	経営科目群	[地域と社会][経営学] を必修とし、残りの科目から8単位以上を選択必修とする。	
	教育科目群	[教育学概論] を必修とし、残りの科目から10単位以上を選択必修とする。	
	自由選択科目	54単位	26単位
	合計	専門教育科目から合計92単位以上（3年次編入学は包括認定単位数含む）の修得を卒業要件単位数とする。	

4-2-2 科目履修のための前提条件について

一部科目は、以下の通り履修にあたり前提条件が設定されています。

■一般教育科目

科目区分	科目名	前提条件
情報処理科目群	情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）	前学期までに【情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）】の単位を修得していること

■専門教育科目

科目区分	科目名	前提条件
心理・コミュニケーション科目群	心理学実験	前学期までに【情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）※】【心理学概論】【心理学研究法】【心理学統計法】の単位を修得していること ※【情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）】は正科生1年次入学の学生のみ適用
	モチベーション論Ⅱ	前学期までに【モチベーション論Ⅰ】の単位を修得していること
	心理的アセスメント	前学期までに【心理学概論】【心理学研究法】【心理学統計法】の単位を修得していること
演習科目	演習Ⅱ	[演習Ⅰ] ※の単位を修得していること ※【単位修得に関する事項】(P.62～64) 参照
	卒業研究	[演習Ⅱ] ※の単位を修得していること ※【単位修得に関する事項】(P.62～64) 参照

4-2-3 進級要件

●正科生（1年次入学）

正科生（1年次入学）は以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

<進級要件単位>

科目区分	3年次への進級要件		4年次への進級要件	
	必修科目	6単位以上	必修科目	12単位以上
一般教育科目	小計	22単位以上	小計	28単位以上
	必修科目	10単位以上	必修科目	16単位以上
専門教育科目	小計	38単位以上	小計	64単位以上
	必修科目	10単位以上	必修科目	16単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

●正科生（3年次編入学）

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、履修条件のある科目に注意して計画的に履修し、卒業要件を満たしてください。

4-2-4 卒業要件

正科生（1年次入学・3年次編入学）は以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

●正科生（1年次入学）

<卒業要件単位>

科目区分	卒業要件単位				備考		
	必修	選択必修	自由選択	小計			
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング単位(対面授業・メディア授業・ライブ授業)で満たさなければならない。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群	0	2				
	情報処理科目群	4	0				
	外国語科目群	6	2				
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	10	4	54	92単位以上		
	経営科目群	4	8				
	教育科目群	2	10				
	演習科目	0	0				
合計	28単位	36単位	60単位	124単位			

●正科生（3年次編入学）

<卒業要件単位>

科目区分	卒業要件単位			小計	備考
	必修	選択必修	自由選択		
一般教育科目（認定単位）	(32)			32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング単位(対面授業・メディア授業・ライブ授業)で満たさなければならない。
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	10	4	26	
	経営科目群	4	8		
	教育科目群 (認定単位)	2	10		
合計	-			124単位	

*通学課程で修得した単位は30単位を上限としてスクーリング科目による単位として認定されるが、通信教育課程で修得した単位は入学資格を証明する書類により授業形態を確認し、個別に認定する。

●カリキュラム構成の見方（P.88～）

<授業方法>欄

- T：テキスト科目
- S：スクーリング科目（対面授業）
- M：スクーリング科目（メディア授業）
- L：スクーリング科目（ライブ授業）

<開講ターム>欄【テキスト科目のみ】

- 奇：奇数ターム開講
- 偶：偶数ターム開講

<授業形態>欄

- 講：講義
- 演：演習
- 実：実技or実験

<各要件>欄

- 卒業要件：卒業するために必要な科目・単位
- 資格要件：認定心理士等を取得するために必要な科目

<資格要件>欄

- ：本学において、資格を取得するために必須としている科目
- △：選択必修科目
- ()：認定心理士資格要件上、副次主題のため、修得した単位数の1/2換算を表す

《注意事項》

- ※所属学部・コースに開講する科目のみ、履修することができます。
- ※各科目の担当教員や、スクーリング科目の授業形態（対面授業・メディア授業・ライブ授業）は、シラバスや年度始めに提示する開講予定表を参照してください。
- ※講義概要の変更等により、今後授業形態が変更となる場合があります。

4-2-5 カリキュラム構成

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科

●正科生（1年次入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーションマネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考	
									必修	選択	小計	合計		
一般教育科目	人文	哲学	1 2 3 4	T	奇	講					2	4 単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 一般教育科目から532単位以上	
		宗教学	1 2 3 4	T	奇	講					2			
		歴史学	1 2 3 4	T	偶	講					2			
		文学	1 2 3 4	T	偶	講					2			
		国語表現	1 2 3 4	S		講				2				
		数学	1 2 3 4	T	偶	講					2			
	自然科学	天文学	1 2 3 4	T	奇	講					2	4 単位以上		
		生命科学	1 2 3 4	T	偶	講					2			
		脳科学	1 2 3 4	M		講					2			
		環境科学	1 2 3 4	T	偶	講					2			
		社会学	1 2 3 4	T	偶	講			△		2			
		政治学	1 2 3 4	L		講					2			
	社会	経済学	1 2 3 4	T	偶	講			△		2	4 単位以上		
		法律学	1 2 3 4	T	奇	講			△		2			
		日本国憲法	1 2 3 4	T	奇	講					2			
		体育実技 A	1 2 3 4	S		実					1			
	スポーツ科目群	体育実技 B	2 3 4	S		実					1	2 単位以上		
		レクリエーション論	1 2 3 4	S		講					2			
健康科学論		2 3 4	T	奇	講					2				
情報処理科目群		情報科学概論	1 2 3 4	T	偶	講				2	4 単位以上			
	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	1 2 3 4	M		演				2					
	情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）	2 3 4	S		演				2					
外国語科目群	英語Ⅰ	1 2 3 4	T	奇	講				2	8 単位以上				
	英語Ⅱ	2 3 4	T	奇	講				2					
	英語コミュニケーションⅠ	1 2 3 4	S		演			2						
	英語コミュニケーションⅡ	2 3 4	S		演				2					
	リスニング	1 2 3 4	L		演				2					
	中国語	2 3 4	S		演				2					

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーションマネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
									必修	選択	小計	合計	
専門教育科目	心理学概論	1 2 3 4	T	奇	講	○		△	2	心理・コミュニケーション科目群から14単位以上 専門教育科目から92単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	履修条件有（P.85）	
	パーソナリティ心理学	1 2 3 4	T	偶	講	△			2				
	心理学研究法	1 2 3 4	M		講	○			2				
	社会心理学	1 2 3 4	T	偶	講	△			2				
	心理学統計法	1 2 3 4	M		演	○			2				
	発達心理学	2 3 4	T	奇	講	△			2				
	心理学実験	2 3 4	S		実	○			2				
	心理調査概論	2 3 4	L		講	(△)			2				
	感情心理学	3 4	T	奇	講	△			2				
	グループ・ダイナミクス	2 3 4	T	偶	講	△			2				
	産業・組織心理学	3 4	T	偶	講	△	○		2				
	認知心理学	2 3 4	T	奇	講	△			2				
	家族の心理学	3 4	T	偶	講	△			2				
	臨床心理学概論	1 2 3 4	T	奇	講	△			2				
	モチベーション論Ⅰ	2 3 4	T	偶	講	○	○		2				
	リーダーシップ論	2 3 4	T	偶	講	△			2				
	コミュニケーションの心理学	2 3 4	T	奇	講	△	○		2				
	カウンセリング論	2 3 4	T	奇	講	△			2				
	産業カウンセリング	3 4	M		講	△			2				
	モチベーション論Ⅱ	2 3 4	T	偶	講	○	○		2				
	ストレスマネジメント論	3 4	T	奇	講	△			2				
	心理療法	2 3 4	S		演	△			2				
	コミュニケーション・スキル	3 4	S		演	△			2				
	心理的アセスメント	2 3 4	S		実	○			2				
	ポジティブ心理学	3 4	T	奇	講	△	○		2				
	心理演習	3 4	S		演	△			2				
	エイジングの心理学	3 4	T	奇	講	△			2				
	学習・言語心理学	2 3 4	T	奇	講	△			2				
	福祉心理学	3 4	T	奇	講	△			2				

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考	
									必修	選択	小計	合計		
専門教育科目	経営科目群	多文化共生社会論	2 3 4	T	奇	講				2				
		地域と社会	2 3 4	T	偶	講				2				
		コミュニティデザイン	3 4	T	偶	講				2				
		簿記	2 3 4	S		講				2				
		経営組織論	1 2 3 4	T	偶	講				2				
		国際経済	2 3 4	T	偶	講				2				
		経営管理	2 3 4	T	偶	講				2				
		グローバルビジネス	2 3 4	T	偶	講				2				
		人的資源管理論	3 4	T	奇	講				2				
		経営学	1 2 3 4	T	奇	講				2				
		経営リスクマネジメント	3 4	L		講				2				
		流通論	1 2 3 4	T	奇	講				2				
		消費者行動分析	2 3 4	T	奇	講				2				
		国際関係論	2 3 4	T	偶	演				2				
		マーケティング	1 2 3 4	M		演				2				
		マーケティング戦略	2 3 4	T	奇	講				2				
		都市経営論	3 4	T	偶	講				2				

経営科目群から12単位以上
 専門教育科目から92単位以上
 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講タイム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考	
									必修	選択	小計	合計		
専門教育科目	教育科目群	教育心理学	1 2 3 4	T	奇	講	○			2				
		生涯学習論	2 3 4	M		講				2				
		コンピュータと人間の接点	1 2 3 4	T	偶	講				2				
		NPOと市民活動	3 4	T	偶	講				2				
		国際理解教育論	2 3 4	T	偶	講				2				
		異文化コミュニケーション	1 2 3 4	T	偶	講				2				
		コーチング	3 4	M		講		○		2				
		教育と産業社会	2 3 4	T	奇	講				2				
		社会教育とシティズンシップ	3 4	T	偶	講				2				
		地域教育支援論	1 2 3 4	T	偶	講				2				
		教育とアイデンティティ	3 4	T	偶	講				2				
		教育福祉論	3 4	T	奇	講				2				
		コンピュータネットワーク	2 3 4	T	偶	講				2				
		教育学概論	1 2 3 4	T	奇	講			△	2				
		社会福祉	3 4	T	奇	講			△	2				
		国際社会の福祉	4	L		講				2				
		演習科目	演習Ⅰ	3 4	T/S		演	△			2			
演習Ⅱ	3 4		T/S		演	△			2				履修条件有 (P.85)	
卒業研究	4		T/S		演	△			4				履修条件有 (P.85)	

教育科目群から12単位以上
 専門教育科目から92単位以上
 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

※メディア授業 (M)、ライブ授業 (L) の科目は、スクーリング単位として換算できます。

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科
●正科生（3年次編入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション」マネジャー「Basic」	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
									必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	認定単位								32	32	単位		
専門教育科目	心理学概論	3 4	T	奇	講	○		○	2				
	パーソナリティ心理学	3 4	T	偶	講	△				2			
	心理学研究法	3 4	M		講	○			2				
	社会心理学	3 4	T	偶	講	△				2			
	心理学統計法	3 4	M		演	○			2				
	発達心理学	3 4	T	奇	講	△				2			
	心理学実験	3 4	S		実	○				2		履修条件有 (P.85)	
	心理調査概論	3 4	L		講	(△)				2			
	感情心理学	3 4	T	奇	講	△				2			
	グループ・ダイナミクス	3 4	T	偶	講	△				2			
	産業・組織心理学	3 4	T	偶	講	△	○			2			
	認知心理学	3 4	T	奇	講	△				2			
	家族の心理学	3 4	T	偶	講	△				2			
	臨床心理学概論	3 4	T	奇	講	△				2			
	モチベーション論Ⅰ	3 4	T	偶	講	○	○		2				
	リーダーシップ論	3 4	T	偶	講	△				2			
	コミュニケーションの心理学	3 4	T	奇	講	△	○			2			
	カウンセリング論	3 4	T	奇	講	△				2			
	産業カウンセリング	3 4	M		講	△				2			
	モチベーション論Ⅱ	3 4	T	偶	講	○	○		2			履修条件有 (P.85)	
	ストレスマネジメント論	3 4	T	奇	講	△				2			
	心理療法	3 4	S		演	△				2			
	コミュニケーションスキル	3 4	S		演	△				2			
	心理的アセスメント	3 4	S		実	○				2		履修条件有 (P.85)	
	ポジティブ心理学	3 4	T	奇	講	△	○			2			
	心理演習	3 4	S		演	△				2			
エイジングの心理学	3 4	T	奇	講	△				2				
学習・言語心理学	3 4	T	奇	講	△				2				
福祉心理学	3 4	T	奇	講	△				2				

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	開講ターム	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション」マネジャー「Basic」	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
									必修	選択	小計	合計	
専門教育科目	多文化共生社会論	3 4	T	奇	講					2			
	地域と社会	3 4	T	偶	講					2			
	コミュニティデザイン	3 4	T	偶	講					2			
	簿記	3 4	S		講					2			
	経営組織論	3 4	T	偶	講					2			
	国際経済	3 4	T	偶	講					2			
	経営管理	3 4	T	偶	講					2			
	グローバルビジネス	3 4	T	偶	講					2			
	人的資源管理論	3 4	T	奇	講					2			
	経営学	3 4	T	奇	講				2				
	経営リスクマネジメント	3 4	L		講					2			
	流通論	3 4	T	奇	講					2			
	消費者行動分析	3 4	T	奇	講					2			
	国際関係論	3 4	T	偶	演					2			
	マーケティング	3 4	M		演					2			
	マーケティング戦略	3 4	T	奇	講					2			
	都市経営論	3 4	T	偶	講					2			
	教育心理学	3 4	T	奇	講	○				2			
	生涯学習論	3 4	M		講					2			
	コンピュータと人間の接点	3 4	T	偶	講					2			
	NPOと市民活動	3 4	T	偶	講					2			
	国際理解教育論	3 4	T	偶	講					2			
	異文化コミュニケーション	3 4	T	偶	講					2			
	コーチング	3 4	M		講		○			2			
	教育と産業社会	3 4	T	奇	講					2			
	社会教育とシティズンシップ	3 4	T	偶	講					2			
地域教育支援論	3 4	T	偶	講					2				
教育とアイデンティティ	3 4	T	偶	講					2				
教育福祉論	3 4	T	奇	講					2				
コンピュータネットワーク	3 4	T	偶	講					2				
教育学概論	3 4	T	奇	講				○	2				
社会福祉	3 4	T	奇	講				○	2				
国際社会の福祉	4	L		講					2				
認定単位									28	28	単位		

※メディア授業（M）、ライブ授業（L）の科目は、スクーリング単位として換算できます。
参照：認定心理士資格【(公社)日本心理学会認定資格】に係る科目読替表（P.97）

5. 資格に関する事項

各資格・免許等の取得を希望する場合は、下記の諸条件および修得に必要な開講科目を確認してください。

<通信教育課程で取得できる資格・教員免許状>

所属 資格・免許の名称	こども心理学部				モチベーション行動科学部	
	1年次入学	3年次編入学			1年次入学	3年次編入学
		認定心理士 ・生涯学習 コース	幼稚園教諭 一種免許 コース	小学校教諭 一種免許 コース		
認定心理士	○	○	×	×	○	○
幼稚園教諭免許状(一種・二種)	○	×	○	×	×	×
小学校教諭免許状(一種・二種)	○	×	×	○	×	×
社会福祉主事任用資格	○	○	○	○	○	○
児童福祉司任用資格	○	○	○	○	×	×
児童指導員任用資格	○	○	○	○	×	×
「公認モチベーション・マネジャー」 Basic資格	×	×	×	×	○	○

5-1 認定心理士【対象：こども心理学部・モチベーション行動科学部】

認定心理士とは、「公益社団法人日本心理学会」が認定する心理学の基礎資格で、大学で心理学に関する標準的な基礎知識と基礎技術を修得していることを認定する資格です。

通信教育課程において所定の科目を全て修得し、卒業後、公益社団法人日本心理学会に申請することにより認定心理士資格を取得することができます。

◆認定心理士資格取得に必要な授業科目◆

本学において認定心理士資格取得に必要な最低修得単位数は、以下の項目に従います。

- ・ a～cの3領域のうち、各領域でそれぞれ4単位以上かつ小計12単位以上
- ・ d～hの5領域のうち、3領域各4単位以上を含む、小計16単位以上
- ・ 各領域のうち、少なくとも2単位は「副次主題」以外に属する単位とする
- ・ これらの領域全体で合計36単位。ただしi領域からは、4単位まで充当可

具体的な読替表および単位数は次頁の表を参照してください。

認定心理士資格[(公社)日本心理学会認定資格]に係る科目読替表

●こども心理学部

認定心理士認定資格細則別表による領域及び単位数		左記に対応する本学における開講科目			
領域	単位数	科目	単位数		
			T	S	M
a	心理学概論	心理学概論(こころの形成)	(2)		
		心理学概論(こころの理解)	(2)		
		子どもの心理学(総論)	((2))		
b	心理学研究法	心理学研究法Ⅰ			(2)
		心理学研究法Ⅱ		2	
		心理統計法Ⅰ			(2)
		心理統計法Ⅱ		2	
		心理学基礎実験		(2)	
c	心理学実験実習	心理・教育アセスメントⅠ		(2)	
		認知心理学	2		
d	知覚心理学 学習心理学	感情心理学	2		
		言語心理学	2		
		発達生理心理学Ⅰ	2		
e	生理心理学 比較心理学	発達生理心理学Ⅱ	(2)		
		比較行動学	2		
f	教育心理学 発達心理学	教育心理学	(2)		
		乳幼児心理学	(2)		
		発達心理学	2		
		青年心理学	2		
		親子関係の心理学	(2)		
		発達の課題と障害	2		
g	臨床心理学 人格心理学	子ども臨床心理学	(2)		
		カウンセリング論	(2)		
		産業カウンセリング			2
		ストレスマネジメント論	2		
		心理療法基礎		2	
		心理療法上級		2	
		心理・教育アセスメントⅡ		(2)	
		パーソナリティ心理学	2		
		精神保健学	(2)		
		発達障害学	2		
		心身医学	(2)		
		少年非行の心理学	2		
		犯罪の心理学	2		
		学校教育カンファレンス		(2)	
子育てカンファレンス		(2)			
h	社会心理学 産業心理学	集団の心理学	2		
		社会的認知			2
		対人コミュニケーション論	2		
		対人コミュニケーションスキル		2	
		家族の心理学	2		
i	その他の科目	文化心理学	2		
		こども心理学演習		2	
		卒業研究・卒業論文		4	

(注)・()は「副次主題」のため認定心理士資格要件上、修得単位数は1単位の換算になることを示します。
 ・(2)は、本学において認定心理士資格を取得するために必須としている科目です。
 ・各学生形態によって、開講科目が異なります。カリキュラム表を確認してください。
 ※各領域4単位中2単位以上は「副次主題」以外に属する単位としてください。残余の単位は「副次主題」に属する単位でもかまいません。
 ※上表は、2024年度の状況であり、担当教員や講義概要の変更などにより単位の取扱いが変更される場合があります。

●モチベーション行動科学部

認定心理士認定資格細則別表による領域及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
領域	単位数	科目	単位数			
			T	S	M	
a	心理学概論	4単位以上	(2)			
b	心理学研究法	小計8単位以上 (C領域は必ず4単位以上)	教育心理学	(2)		
			心理学研究法			(2)
			心理学統計法			(2)
c	心理学実験実習	心理調査概論		(2)		
		心理学実験		(2)		
d	知覚心理学 学習心理学	心理的アセスメント		(2)		
		認知心理学	2			
e	生理心理学 比較心理学	感情心理学	2			
		学習・言語心理学	2			
f	教育心理学 発達心理学	3領域各4単位以上を 含む16単位以上	-	-		
g	臨床心理学 人格心理学	家族の心理学	2			
		発達心理学	2			
		エイジングの心理学	2			
		パーソナリティ心理学	2			
		臨床心理学概論	2			
		カウンセリング論	2			
h	社会心理学 産業心理学	産業カウンセリング			2	
		ストレスマネジメント論	2			
		心理療法		2		
		心理演習		2		
		福祉心理学	2			
		産業・組織心理学	2			
		リーダーシップ論	2			
		モチベーション論Ⅰ	(2)			
モチベーション論Ⅱ	(2)					
i	その他の科目	社会心理学	2			
		グループ・ダイナミクス	2			
		コミュニケーションの心理学	2			
		コミュニケーション・スキル		2		
		ポジティブ心理学	2			
		演習Ⅰ		2		
		演習Ⅱ		2		
卒業研究		4				

(注)・()は「副次主題」のため認定心理士資格要件上、修得単位数は1単位の換算になることを示します。
 ・(2)は、本学において認定心理士資格を取得するために必須としている科目です。
 ・各学生形態によって、開講科目が異なります。カリキュラム表を確認してください。
 ※各領域4単位中2単位以上は「副次主題」以外に属する単位としてください。残余の単位は「副次主題」に属する単位でもかまいません。
 ※上表は、2024年度の状況であり、担当教員や講義概要の変更などにより単位の取扱いが変更される場合があります。

5-2 幼稚園教諭一種免許【対象：こども心理学部】

幼稚園教諭免許とは、幼稚園で就業するために必要な教育職員免許法に基づく免許状です。幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、4年制大学を卒業することが基礎資格となっており、これに加え、本学において幼稚園教諭に必要な所定の科目の単位をすべて修得する必要があります。

◆幼稚園教諭一種免許取得に必要な科目◆

本学において幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位数は、教育職員免許法に基づき「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教職に関する科目」のそれぞれに対応する科目を定めています。

詳細は、以下の表を参照してください。

幼稚園教諭一種免許課程に係る科目読替表

■教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講ターム	単位数	本学カリキュラム	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または 体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	奇	2	△	
		英語 II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーション I	S		2	△	
		英語コミュニケーション II	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	M		2	○	

■教科及び教職に関する科目

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	開講ターム	本学カリキュラム	実習要件	備考欄
第2欄 領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	健康	T	2	奇	○	3科目6単位以上	
			人間関係	T	2	偶	○		
			環境	T	2	偶	○		
			言葉	T	2	奇	○		
			表現	T	2	偶	○		
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	16	保育内容総論 (保育指導法)	T	2	奇	○	3科目6単位以上	
			健康指導法	TS	2		○		
			人間関係指導法	TS	2		○		
			環境指導法	TS	2		○		
			言葉指導法	TS	2		○		
			造形表現指導法	TS	2		○		
			音楽表現指導法	TS	2		○		

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	開講ターム	本学カリキュラム	実習要件	備考欄
第3欄 教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論	T	2	偶	○	○	要2科目履修
			教職論	T	2	偶	○	○	
			比較教育制度論	T	2	偶	○		
			学校安全	T	2	奇	○		
			教育心理学	T	2	奇	○	○	
			発達心理学	T	2	奇	○		
			乳幼児心理学	T	2	偶	○		
第4欄 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	4	教育の方法と技術 (情報通信技術の活用を含む)	T	2	偶	○		
			幼児理解と保育相談	T	2	偶	○		
			教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	T	2	偶	○		
第5欄 教育実践に関する科目	教育実践	7	教育実習指導 (事前・事後) (幼)	S	1		○	事前のみ	
			教育実習 I (幼)	S	2		○		
			教育実習 II (幼)	S	2		○		
			教職実践演習 (幼・小)	S	2		○		
第6欄 大学が独自に設定する科目		14	心理学概論 (こころの形成)	T	2	偶	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位数を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論 (こころの理解)	T	2	奇	△		
			子ども臨床心理学	T	2	奇	△		
			子どもの心理学 (総論)	T	2	偶	△		
			道徳教育	T	2	偶	△		
			子ども家庭福祉	T	2	奇	△		

【実習要件について】

教育実習 I・II を受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○ (4 科目) 及び「領域に関する専門的事項」から 3 科目 6 単位以上、「保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)」から 3 科目 6 単位以上を修得していることと、教育実習指導 (事前・事後) の事前指導を受講していることが必要です。

※スクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

※○：必修／△：選択必修

5-3 小学校教諭一種免許【対象：こども心理学部】

小学校教諭免許とは、小学校で就業するために必要な教育職員免許法に基づく免許状です。小学校教諭一種免許状を取得するためには、4年制大学を卒業することが基礎資格となっており、これに加え、本学において小学校教諭に必要な所定の科目の単位をすべて修得する必要があります。

◆小学校教諭一種免許取得に必要な科目◆

本学において小学校教諭一種免許状取得に必要な単位数は、教育職員免許法に基づき「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教職に関する科目」のそれぞれに対応する科目を定めています。

詳細は、以下の表を参照してください。

小学校教諭一種免許課程に係る科目読替表

■教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講ターム	単位数	本学カリキュラム	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	奇	2	△	
		英語 II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーション I	S		2	△	
		英語コミュニケーション II	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	M		2	○	

■教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目								
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	開講ターム	本学カリキュラム	実習要件	備考欄	
第2欄 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	T	2	偶	5科目10単位以上	4科目8単位以上		
			社会	T	2	奇				
			算数	T	2	偶				
			理科	T	2	奇				
			生活	T	2	偶				
			図画工作	T	2	奇				
			家庭	T	2	奇				
			体育	T	2	偶				
			外国語	T	2	偶				
			音楽	T	2	奇				
	(情報通信技術の活用を含む。)	各教科の指導法		初等国語科教育法	T or TS	2	偶	※4科目8単位以上		※各教科の指導法は、テキスト科目(T)又はテキストスクーリング科目(TS)のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。
				初等社会科教育法	T or TS	2	奇			
				初等算数科教育法	T or TS	2	偶			
				初等理科教育法	T or TS	2	奇			
				初等生活科教育法	T or TS	2	偶			
				初等音楽科教育法	T or TS	2	奇			
				初等図画工作科教育法	T or TS	2	奇			
				初等家庭科教育法	T or TS	2	奇			
				初等体育科教育法	T or TS	2	奇			
				初等英語教育法	T or TS	2	偶			

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	開講ターム	本学カリキュラム	実習要件	備考欄
第3欄 教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育学概論	T	2	偶	○	○	要2科目履修
			教職論	T	2	偶	○		
			比較教育制度論	T	2	偶	○		
			学校安全	T	2	奇	○		
			教育心理学	T	2	奇	○		
			発達心理学	T	2	奇	△		
			乳幼児心理学	T	2	偶	△		
第4欄 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	道徳教育	T	2	偶	○	○	
			総合的な学習の指導法	T	2	偶	○		
			特別活動	T	2	偶	○		
			教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	T	2	偶	○		
			生徒・進路指導	T	2	奇	○	○	
			教育相談	T	2	偶	○		
			教育実習指導(事前・事後)(小)	S	1		○	事前のみ	
第5欄 教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	7	教育実習 I (小)	S	2		○		
			教育実習 II (小)	S	2		○		
			教職実践演習(幼・小)	S	2		○		
第6欄	大学が独自に設定する科目	2	心理学概論(こころの形成)	T	2	偶	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論(こころの理解)	T	2	奇	△		
			子ども臨床心理学	T	2	奇	△		
			子どもの心理学(総論)	T	2	偶	△		
			子ども家庭福祉	T	2	奇	△		

【実習要件について】
教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」から4科目8単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

【介護等体験について】
教育実習とは別に、7日間の介護等体験が必要です。

※スクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。
※○：必修/△：選択必修

5-4 幼稚園教諭二種免許【対象：こども心理学部】

◆幼稚園教諭二種免許取得に必要な科目◆

二種免許状の基礎資格は、基本的に短期大学卒以上となるため、3年次編入生で、且つ短期大学・四年制大学既卒者のみご参照ください。

1年次入学生及び専門学校卒業の3年次編入生は、一種免許状の要件単位をご参照ください。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講ターム	単位数	本学カリキュラム	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	奇	2	△	
		英語 II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーション I	S		2	△	
		英語コミュニケーション II	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講ターム	単位数	本学カリキュラム	実習要件	備考
第 2 欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目 専門的事項 領域に関する	健康 人間関係 環境 言葉 表現	健康	T	奇	2	3 科目 6 単位以上	3 科目 6 単位以上	
			人間関係	T	偶	2			
			環境	T	偶	2			
			言葉	T	奇	2			
			表現	T	偶	2			
			保育内容総論(保育指導法)	T	奇	2			
			健康指導法	TS		2			
			人間関係指導法	TS		2			
			環境指導法	TS		2			
			言葉指導法	TS		2			
音楽表現指導法	TS		2						
造形表現指導法	TS		2						
第 3 欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育学概論	T	偶	2	○	○	
			教職論	T	偶	2	○	○	
			比較教育制度論	T	偶	2	○	○	要 2 科目履修
			学校安全	T	奇	2	○	○	
			教育心理学	T	奇	2	○	○	
			発達心理学	T	奇	2	○	○	
			乳幼児心理学	T	偶	2	○	○	
			特別支援教育	T	偶	2	○	○	
			子ども教育課程論	T	偶	2	○	○	
			第 4 欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	T	偶	2
幼児理解と保育相談	T	偶				2	○	○	
第 5 欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導(事前・事後)(幼)	S		1	○	○	事前のみ
			教育実習 I (幼)	S		2	○	○	
			教育実習 II (幼)	S		2	○	○	
			教職実践演習(幼・小)	S		2	○	○	
第 6 欄	大学が独自に設定する科目		心理学概論(こころの形成)	T	偶	2	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることできる。		
			心理学概論(こころの理解)	T	奇	2			
			子ども臨床心理学	T	奇	2			
			子どもの心理学(総論)	T	偶	2			
			道徳教育	T	偶	2			
子ども家庭福祉	T	奇	2						

[実習要件について]: 教育実習 I・II を受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(4科目)及び「領域に関する専門的事項」から3科目6単位以上、「保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」から3科目6単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

※スクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。
※○: 必修/△: 選択必修

5-5 小学校教諭二種免許【対象：こども心理学部】

◆小学校教諭二種免許取得に必要な科目◆

二種免許状の基礎資格は、基本的に短期大学卒以上となるため、3年次編入生で、且つ短期大学・四年制大学既卒者のみご参照ください。

1年次入学生及び専門学校卒業の3年次編入生は、一種免許状の要件単位をご参照ください。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講ターム	単位数	本学カリキュラム	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	奇	2	△	
		英語 II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーション I	S		2	△	
		英語コミュニケーション II	S		2	△	
		リスニング	L		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講ターム	単位数	本学カリキュラム	実習要件	備考
第 2 欄	教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語(書写を含む。) 社会 算数 理科 生活 図画工作 家庭 体育 外国語 音楽	国語	T	偶	2	4 科目 8 単位以上	4 科目 8 単位以上	
			社会	T	奇	2			
			算数	T	偶	2			
			理科	T	奇	2			
			生活	T	偶	2			
			子ども美術	T	奇	2			
			家庭	T	奇	2			
			子ども体育	T	偶	2			
			初等英語	T	偶	2			
			子ども音楽	T	奇	2			
			音楽実技 I A	S		1			
			音楽実技 I B	S		1			
			初等国語科教育法	T/TS	偶	2			
			初等社会科教育法	T/TS	奇	2			
			初等算数科教育法	T/TS	偶	2			
			初等理科教育法	T/TS	奇	2			
			初等生活科教育法	T/TS	偶	2			
			初等音楽科教育法	T/TS	奇	2			
			初等図画工作科教育法	T/TS	奇	2			
			初等家庭科教育法	T/TS	奇	2			
初等体育科教育法	T/TS	奇	2						
初等英語教育法	T/TS	偶	2						
第 3 欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育学概論	T	偶	2	○	○	要 2 科目履修
			教職論	T	偶	2	○	○	
			比較教育制度論	T	偶	2	○	○	
			学校安全	T	奇	2	○	○	
			教育心理学	T	奇	2	○	○	
			発達心理学	T	奇	2	○	○	
			乳幼児心理学	T	偶	2	○	○	
			特別支援教育	T	偶	2	○	○	
			子ども教育課程論	T	偶	2	○	○	
			第 4 欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	T	偶	
幼児理解と保育相談	T	偶				2	○	○	
道徳教育	T	偶				2	○	○	
総合的な学習の時間の指導法	T	偶				2	○	○	
特別活動の指導法	T	偶				2	○	○	
教育の方法及び技術	T	偶				2	○	○	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	T	偶				2	○	○	
生徒指導の理論及び方法	T	偶				2	○	○	
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法	T	偶				2	○	○	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	T	偶				2	○	○	
第 5 欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導(事前・事後)(小)	S		1	○	○	事前のみ
			教育実習 I (小)	S		2	○	○	
			教育実習 II (小)	S		2	○	○	
			教職実践演習(幼・小)	S		2	○	○	
			第 6 欄	大学が独自に設定する科目		心理学概論(こころの形成)	T	偶	2
心理学概論(こころの理解)	T	奇				2	△	△	
子ども臨床心理学	T	奇				2	△	△	
子どもの心理学(総論)	T	偶				2	△	△	
子ども家庭福祉	T	奇				2	△	△	

[実習要件について]: 教育実習 I・II を受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」から4科目8単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

[介護体験について]: 教育実習とは別に、7日間の介護体験が必要です。

※スクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。
※○: 必修/△: 選択必修

5-6 社会福祉主事任用資格

【対象：こども心理学部・モチベーション行動科学部】

社会福祉主事とは、社会福祉法第19条に定められている任用資格です。自治体の社会福祉施設や福祉事務所などにおいて、利用者の相談に応じて、医療機関等と連携しながら必要な援助を行います。

本学通信教育課程では、正科生として所定の科目の単位を修得し卒業すると、社会福祉主事任用資格が得られます。その後、公務員試験に合格し、福祉職として任用されることで、社会福祉主事として働くことができます。

(参考) 社会福祉法第19条

第十九条 社会福祉主事は、都道府県知事又は市町村長の補助機関である職員とし、年齢十八年以上の者であつて、人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ、次の各号のいずれかに該当するもののうちから任用しなければならない。

- 一 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)に基づく大学、旧大学令(大正七年勅令第三百八十八号)に基づく大学、旧高等学校令(大正七年勅令第三百八十九号)に基づく高等学校又は旧専門学校令(明治三十六年勅令第六十一号)に基づく専門学校において、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者(当該科目を修めて同法に基づく専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)
- 二 都道府県知事の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
- 三 社会福祉士
- 四 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者
- 五 前各号に掲げる者と同等以上の能力を有すると認められる者として厚生労働省令で定めるもの

社会福祉主事任用資格に係る科目読替表

●こども心理学部

省令に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目	
科目	単位数	科目	単位数
			T
社会福祉概論	3科目 6単位以上	社会福祉	2
児童福祉論		子ども家庭福祉	2
精神障害者保健福祉論		精神保健学	2
法学		法律学	2
経済学		経済学	2
社会学		社会学	2
教育学		教育学概論	2

●モチベーション行動科学部

省令に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目	
科目	単位数	科目	単位数
			T
社会福祉概論	3科目 6単位以上	社会福祉	2
法学		法律学	2
経済学		経済学	2
心理学		心理学概論	2
社会学		社会学	2
教育学		教育学概論	2

5-7 児童福祉司任用資格(※要実務経験)【対象：こども心理学部】

児童福祉司とは、児童福祉法第13条に定められている任用資格で、児童相談所などで主に児童の福祉に関わる相談業務や各種調査などの専門的業務を行います。

本学こども心理学部を卒業後、厚生労働省が定める施設において、児童その他の者の福祉に関する相談業務に1年以上従事することで、児童福祉司任用資格が得られます。その後、地方公務員試験に合格し児童相談所等に配属され、児童福祉司となります。

児童福祉法第十三条

第十三条 都道府県は、その設置する児童相談所に、児童福祉司を置かなければならない。

2 児童福祉司の数は、各児童相談所の管轄区域内の人口、児童虐待に係る相談に応じた件数、第二十七条第一項第三号の規定による里親への委託の状況及び市町村におけるこの法律による事務の実施状況その他の条件を総合的に勘案して政令で定める基準を標準として都道府県が定めるものとする。

3 児童福祉司は、都道府県知事の補助機関である職員とし、次の各号のいずれかに該当する者のうちから、任用しなければならない。

- 一 児童虐待を受けた児童の保護その他児童の福祉に関する専門的な対応を要する事項について、児童及びその保護者に対する相談及び必要な指導等を通じて的確な支援を実施できる十分な知識及び技術を有する者として内閣府令で定めるもの
- 二 都道府県知事の指定する児童福祉司若しくは児童福祉施設の職員を養成する学校その他の施設を卒業し、又は都道府県知事の指定する講習会の課程を修了した者
- 三 学校教育法に基づく大学又は旧大学令に基づく大学において、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者(当該学科又は当該課程を修めて同法に基づく専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)であつて、内閣府令で定める施設において一年以上相談援助業務(児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務をいう。第八号及び第六項において同じ。)に従事したもの

四 医師

五 社会福祉士

六 精神保健福祉士

七 公認心理師

八 社会福祉主事として二年以上相談援助業務に従事した者であつて、内閣総理大臣が定める講習会の課程を修了したもの

九 第二号から前号までに掲げる者と同等以上の能力を有すると認められる者であつて、内閣府令で定めるもの

4 児童福祉司は、児童相談所長の命を受けて、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等児童の福祉増進に努める。

5 児童福祉司の中には、他の児童福祉司が前項の職務を行うため必要な専門的技術に関する指導及び教育を行う児童福祉司(次項及び第七項において「指導教育担当児童福祉司」という。)が含まなければならない。

6 指導教育担当児童福祉司は、児童福祉司としておおむね五年以上(第三項第一号に規定する者のうち、内閣府令で定める施設において二年以上相談援助業務に従事した者その他の内閣府令で定めるものにあつては、おおむね三年以上)勤務した者であつて、内閣総理大臣が定める基準に適合する研修の課程を修了したものでなければならない。

7 指導教育担当児童福祉司の数は、政令で定める基準を参酌して都道府県が定めるものとする。

8 児童福祉司は、児童相談所長が定める担当区域により、第四項の職務を行い、担当区域内の市町村長に協力を求めることができる。

9 児童福祉司は、内閣総理大臣が定める基準に適合する研修を受けなければならない。

10 第三項第二号の施設及び講習会の指定に関し必要な事項は、政令で定める。

5-8 児童指導員任用資格【対象：こども心理学部】

児童指導員とは、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第43条に定められている任用資格です。家庭の事情や障害などを理由に児童福祉施設で生活する子どもたちの保護や生活・学習指導を行い、健全な成長を支援します。

本学こども心理学部を卒業することで、児童指導員任用資格が得られます。その後、公務員試験や各施設の採用試験に合格し配属されてはじめて、児童指導員となります。

(参考) 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第43条

第四十三条 児童指導員は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 一 都道府県知事の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者
- 二 社会福祉士の資格を有する者
- 三 精神保健福祉士の資格を有する者
- 四 学校教育法の規定による大学（短期大学を除く。次号において同じ。）において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
- 五 学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学又は社会学に関する科目の単位を優秀な成績で修得したことにより、同法第百二条第二項の規定により大学院への入学を認められた者
- 六 学校教育法の規定による大学院において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専攻する研究科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
- 七 外国の大学において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
- 八 学校教育法の規定による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、同法第九十条第二項の規定により大学への入学を認められた者若しくは通常の課程による十二年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者であつて、二年以上児童福祉事業に従事したもの
- 九 教育職員免許法に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の教諭の免許状を有する者であつて、都道府県知事が適当と認めたもの
- 十 三年以上児童福祉事業に従事した者であつて、都道府県知事が適当と認めたもの

◆任用資格とは◆

行政分野において、特定の職業や職位に任用されるための資格です。該当する職種として配属されて初めて効力を持つ資格となります。一般的に任用資格には資格証明書や合格証などは存在せず、卒業証明書や成績証明書で証明がなされます。

5-9 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格

【対象：モチベーション行動科学部】

「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格は、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会から認定される資格です。

「公認モチベーション・マネジャー」は、Basic、Advanced、Professionalの3種の資格体系からなり、Basic資格では自己のモチベーションを中心にモチベーション全般に関連する理論・知識を学び、自己の仕事の意義付けや就職活動に対するモチベーションの維持などに役立てることが出来ます。

Basicの取得後は、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会の講座を受講し、AdvancedやProfessionalの資格を目指すことも可能です。

◆「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格を取得するには◆

以下6科目12単位を満たし、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会に申請することで取得できます。

科目	単位数	
	T	M
産業・組織心理学	2	
モチベーション論Ⅰ	2	
コミュニケーションの心理学	2	
モチベーション論Ⅱ	2	
ポジティブ心理学	2	
コーチング		2